

二					
六	五	四	三	二	一
け で は な い こ と 。	い る が 、 そ の 世 界 に つ い て な に も か も が 書 か れ て い る わ	文 芸 作 品 は 、 言 葉 に よ っ て な に か し ら の 世 界 が 示 さ れ て	A ア B イ C イ	た 点 。	漱 石 は 、 個 人 の 興 味 関 心 に よ る 文 学 の 見 方 で は な く 、 時 代 や 場 所 や 言 語 に 共 通 す る 普 遍 的 な 文 学 の 定 義 を 目 指 し
					イ 捉 え よ う c 顕 微 鏡 d た か

三					
六	五	四	三	二	一
で 捉 え 、 話 の 全 体 を 意 識 し な が ら 、 論 理 の 展 開 を 工 夫 す る な ど 話 の 構 成 を 検 討 す る こ と が で き る と 考 え る 。	ア	り す る こ と が で き る か ら 。	エ	よ っ て 共 同 体 を 一 つ に ま と め て き た か ら 。	一 物 事 の 最 も 大 事 な 点 、 物 事 の 要 点 を つ か ん だ 処 理 の 仕 方 。

三			
六	五	三	一
ま だ 途 方 に く れ て い る こ と よ 。	無 駄 な こ と だ と 思 っ た か ら 。	出 家 す れ ば 、 手 紙 を 見 な く な っ て し ま う の で 、 残 し て も	a ようよう b ゆいあわせて 二 (品詞) 助動詞 (活用形) 連用形

	□			□			配
六	二	一	五	四	一	点	
·	·	·	·	·	·	·	
·	四	三	·	六	二	·	
·	·	·	·	·	·	·	
·	五	·	·	·	三	·	
·	·	·	·	·	·	·	
	各	各	各	各	各	各	
8	4	3	4	6	3	点	
点	点	点	点	点	点	点	

8	4	3	4	6	3
×	×	×	×	×	×
1	3	2	3	2	5
	1		1	1	1
8	2	6	2	2	5
点	点	点	点	点	点

	合	計		□
			四	一
			·	·
			五	二
			·	·
			六	三
			·	·
			·	·
			各	各
			5	4
			点	点
			5	4
			×	×
			3	5
			1	2
			5	0
			点	点
			1	
			0	
			0	
			点	